高専 八戸高専だより

第１５５号　平成31年３月

独立行政法人　国立高等専門学校機構
八戸工業高等専門学校 発行
〒039-1192　青森県八戸市田面木字上野平16番地1
TEL　0178-27-7223（総務係）
FAX　0178-27-9379
E-mail　somu-o@hachinohe-ct.ac.jp
URL　http://www.hachinohe-ct.ac.jp/

目　　次

卒業生・修了生への祝辞（学校長より）…… 1
卒業生・修了生への祝辞（後援会長より）…… 2
本科生　祝・卒業…… 3
卒業生・修了生の進路状況…… 5
就職・進学先一覧…… 6
卒業研究テーマ一覧表…… 7
専攻科生　祝・修了…… 9
専攻科特別研究発表会表彰者…… 9
専攻科特別研究発表題目一覧表……10
就職・進学体験記……12
退職するにあたって……12
新任教職員紹介……13
第４学年見学旅行……13
インターンシップ……13
教務委員会から……14
厚生補導委員会から……15
北辰寮から……16
４学期制実施部会から……17
国際交流センターから……18
男女共同参画委員会から……19
キャリア教育・支援センターから……19
留学生担当から……20
相談室から……20
COC/COC+計画立案室から ……21
図書館委員会から……22
東北地区高専体育大会ラグビー競技……23
全国高専体育大会……23
全国高専弓道大会……23
ロボコン・エコラン・デザコン・プロコン結果 …24
各種検定資格合格者一覧……25
スポーツ賞受賞者一覧……25
卒業生・修了生表彰……26
平成31年度行事予定表……27

グローバルエンジニアをめざして

八戸工業高等専門学校長
圓　山　重　直
（まるやま　しげなお）

卒業・修了を迎えられた皆様、おめでとうございます。

八戸工業高等専門学校に入学してからの５年間または７年間は、皆様の人生にとって重要な期間です。この間、皆様の成長は目覚ましいものがあります。本校で学んだ多くのことを、社会や進学先で生かして大いに活躍することを期待します。これまで、見守り支援してくださった保護者の皆様や、本校内外でご支援してくださった方々に心から御礼申し上げます。

平成27年度から始まった４学期制と秋学期の自主探究は今年で4年になります。学生諸君の学習習慣を途切れさせないために、本年度は、秋学期１－２限目に、数・物と英語の演習授業を導入しました。春・夏学期には、自主探究テーマを決めるための自主探究DAYも設定しました。４，５年生の自主探究については内容を大幅に変更しました。

自主探究では、まだ誰も答えの分からない問題を自分で見つけ出し、解決方法を探し、調査・実験し、学生同士でディスカッションするなどして科学的に解決します。この時、新しい課題にチャレンジする精神と、調査・実験した事柄を論理的に組み立てて、皆に理解できるようにプレゼンテーションする能力が培われます。

自主探究は海外にも展開しています。本校の学生がモンゴルやシンガポールに行き、派遣先の問題を探索し、現地の学生や教員等と協力して問題解決や研究を行う「国際自主探究」を実施しています。

大学受験がなく、高大一貫教育ができる高専では、15歳から学生を海外に派遣し、自主探究活動をすることが可能となり、これが大きな特徴ともいえます。また、充実した研究設備や、教員が研究者である高専だからこそ自主探究が実施できるのです。

これらの取り組みは、次世代の先進教育として文部科学省等に高く評価されております。また、国際会議などで海外教育機関からの注目を集め、賞賛を受けております。

いま、日本の主要産業は国際展開しており、ビジネスの半分以上は海外の市場を対象にしています。皆さんが企業に勤めると、海外に出張・滞在して、現地の人たちと協力してプロジェクトを行うことになります。自主探究のプロセスや国際自主探究プログラムの経験は、将来、国内外で活躍するグローバルエンジニアとなる皆さんにとって大変役に立つと確信しております。

こうした本校の国際的な取り組みが評価され、留学生と日本人学生が一緒に生活する、混住型国際寮が整備されようとしています。この寮では、留学生と日本人が共同生活することにより、八戸に居ながら、異文化を理解して国際性を育むことができます。

また、地球温暖化により暑くなった八戸の夏でも快適に授業が受けられるように、講義室にエアコンを導入することになり、産学連携拠点である地域テクノセンターを改修する予定です。施設環境も少しずつ改善されています。

文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC、COC＋）」、高専機構のKOSEN4.0イニシアティブプログラム（２件）やグローバル高専事業、タイ政府奨学金留学生受け入れプログラム等に採択されています。本校は大きな予算を獲得し、充実した教育や質の高い研究を支援するために活用しています。

このように本校の教育・研究環境を充実できるのは、教職員の努力はもとより、本校の学生が生き生きと活躍していることが、評価されているからです。

本年度卒業・修了される皆様が、本校で学んだ事と経験を活用して、グローバルエンジニアとして活躍することを願います。

最後に、これまでご支援頂いた保護者の方々、関係者の方々にお祝いと感謝を申し上げると共に、卒業生・修了生に輝かしい未来が開けますよう、益々のご支援ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

信頼される人となれ

後援会長　**小　田　良　広**

平成最後の年に卒業されます八戸高専本科卒業生ならびに専攻科修了生の皆様ご卒業おめでとうございます。そしてこの日を心待ちにされ、今日まで温かく見守ってこられた保護者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

皆様は高専での本科は５年、専攻科修了生はさらに２年間の生活でしたが卒業を迎えてそれぞれの胸に感慨深いものがあると思います。中学校を卒業した15歳の多感な時期に、心の中に希望に胸を膨らませながら高専の門をくぐってきました。

入学式後には、初めての寮生活ではいくつも歳の離れた先輩方との対面、異なる地域からの同級生たち、全てが初めての事だらけだったと思います。多くの仲間たちと一緒の生活をする中で、大切なものを学び、体験し、共に成長してきました。それは学生の時にしか出来ない大切な財産であり、これからの人生で心の糧となって支えてくれます。

卒業される皆様は、他の大学への編入学や専攻科への進学、または就職して社会で活躍する方など、進む道はそれぞれ違うかもしれませんが、環境の変化に戸惑いながらも歩み始めようとしています。色々な場面での試練に遭遇したり、また激動とも言える社会変化が起こるかも知れません。そんな難しい局面でも、皆様には今まで高専で培った精神力、行動力、知識力を活かして荒波を乗り越える力が備わっていると思います。

さて、皆さんの中には、卒業を迎えるわくわく感、友達と離れてしまう寂しさ、このような気持ちで満たされているのではないでしょうか。明日から学校に来なくても良い安堵感があるかもしれません。そしてそれぞれの新しい日常が待っている訳ですが、新生活に足を踏み入れる皆さんには自分の考えを持って色々な選択することができる自由を得られ、一方で思い通りにならない不自由さと閉塞を感じることになるでしょう。楽しいこと、嬉しいことが沢山あるのが社会であれば、同時に辛いこと、寂しいことがあるのも社会です。

皆様には胸一杯の夢を心の支えとして、そして新しいものを生み出すリーダーとして、世界に通用する知識と力をつけて、信頼される人間として活躍されることを願っております。

全国で初めて取り入れられた４学期制や自主探究学習では『課題を自分で考え、それを研究し解決する』という、自己の思考力、判断力、表現力を持つ人材育成を目的としています。また学校を代表してのクラブ活動や課外活動も最先端の教育環境の中での研究成果を発表し、素晴らしい成果を挙げて、各方面で『八戸高専』の名前が新聞等の紙面を賑やかにしてくれています。これも熱心にご指導いただいた教職員や監督、コーチの方にあらためてお礼申し上げます。

卒業される皆様の多くはエンジニアとして製造現場のものづくりや、研究においても一人での仕事ではなく、全てチームとして携わって行くと思います。仕事を確実にこなせる能力はもちろんですが、人間力が重要となります。自ら考え、行動する高専プライドは皆さんの体に染み込んでいます。これからの厳しい人生を悠々と歩んでいって欲しいと思います。私たち後援会（親）は飛び立つ皆様に拍手を送り、卒業生一人ひとりを誇りに思います。

最後になりますが、後援会を代表して、今日まで本科卒業生、専攻科修了生を温かく見守り育てていただいた校長先生を始め、諸先生方、職員の皆様方に心よりお礼申し上げます。そして保護者の皆様方には後援会に多大なるご支援、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

今後も後援会、学生への支援や課外活動支援などに引き続きご協力をお願い申し上げます。

八戸高専の更なる発展と皆様のご活躍を心からご祈念申し上げます。

祝・卒業　本科生　機械工学科

贈る言葉

機械システムデザインコース長　**赤垣　友治**

ご卒業、おめでとうございます。４月から、新しい会社、新しい進学先でのスタートですね。夢と希望を持って、各々の新しい道を切り拓いていって下さい。夢や希望を持ち続けることができれば、きっとどんな困難にも打ち克つことが出来るでしょう。子供の頃から『勉強しなさい』と言われ続けてきたと思います。もちろん『勉強する』は学校の勉強のみではなく、すべてのものが対象となります。知識や情報を得るために本を読むと思いますが､読書からは生きるために必要不可欠な『心の栄養』も得ることができます。私自身、もっと読書をしておけばよかったと自省しております。皆さん、本を読もう！目標１月２冊（１年24冊）ｘ50年＝1200冊。卒業生の皆様の健闘を祈っております。

卒業おめでとうございます

機械工学科５学年担任　**古谷　一幸**

ご卒業おめでとうございます。皆さんの多くはこれから社会に出ることになります。自分自身を振り返ってみると、帰宅はいつも午前様、あるとき夜の10時半過ぎにこっそり帰ろうとしたら上司から「ん？これから飲みにでも行くの？」と（次の日は平日でした)。１年目のＧＷは逃げるように実家に帰ったことを今でも思い出します。大変な職場にきてしまったというのが実感でした。たぶん皆さんも、大なり小なりこうした経験をするのではないでしょうか。しかし、ラクしてスライムばかりやっつけていてもレベルアップしません。そう思って、若いうちは苦労を楽しみましょう。そうすれば自然と力が備わってきます。皆さんのご活躍を期待しています。

卒業を迎えて

機械工学科５年　**軽米　健成**
（八戸市立下長中学校出身）

入学からあっという間に５年間が過ぎ、無事に卒業という晴れの日を迎えることができました。楽しい思い出を語ればきりがないですが、大いに苦しんだこともありました。睡眠時間を削り、試験勉強と卒研の傍らCADをする日々もありました。しかし、そのような経験を通して身に着けた思考力、実践力、忍耐力などは今後の人生の大きな支えとなり、困難にも立ち向かえるはずです。

最後に、M5の皆のこれからの活躍に期待すると共に、これまで支えてくれた両親、５年間お世話になった先生方にこの場を借りて心から感謝申し上げます。ありがとうございました。皆さんの期待に応えられるよう、今後も邁進していきます。

祝・卒業　本科生　電気情報工学科

ご卒業おめでとうございます

電気情報工学コース長　**釜谷　博行**

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。平成17年からスタートした電気情報工学科も今年で最後の卒業生となり、少し寂しくなります。さて、AI技術の進歩により、来年には日本でも自動運転車の実用化が計画されています。また、ドローンが生活の中で当たり前の存在になる世界もすぐそこまで来ています。私が学生だった平成初期には、想像でしかなかった世界が今まさに実現されようとしています。今から30年後は、どんな社会になっているのでしょうか。夢を持ち、高専で学んだことを最大限に生かすことで、新たな時代を切り開いて行って欲しいと思います。これからのご活躍を楽しみにしております。ご健闘をお祈りいたします。

充実した人生を

電気情報工学科５学年担任　**熊谷　雅美**

ご卒業おめでとうございます。高専での５年間を長いと感じたか、短いと感じたかはそれぞれ異なると思いますが、これからの時間の方がずっと長いということを意識しておいてください。

肉体的にも、精神的にも無理はしない、内部にも外部にも気軽に相談できる仲間を出来るだけ多く作っておくなどは、最低限のリスク管理であり社会人になるとますます重要になります。

そして、普段はそんなことは気にせず、目の前の仕事に、自分の趣味にと十分に自分の人生を楽しんでください。とにかく自分の人生は自分（と家族）のためにあるのですから。後悔の無い充実した人生を送ってください。

５年間の感謝

電気情報工学科５年　**志民　真由**
（八戸市立第一中学校出身）

無事に卒業という晴れの日を迎えることができ、支えてくれた両親や先生方、恵まれた環境に感謝の思いでいっぱいです。この５年で、仲間たちとの沢山の日常の笑い話や、振り返れば数多い失敗と後悔の苦い経験など、些細な事に一喜一憂した毎日のフルコース料理に、先生方による大量の愛のスパイスが振りかけられ、お腹いっぱいになって大きく成長してきたと実感しています。

輝かしいたくさんの思い出と、高専生活で得た技術力と磨きあげられた底知れぬ忍耐力を持ったE5の皆のこれからの活躍に期待すると共に､多くの方から頂いた慈しみと情愛に感謝致します。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

祝・卒業　本科生　物質工学科

卒業を祝して

マテリアル・バイオ工学コース長　**長谷川　章**

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

皆さんは高専生活の中で、学業、部活動、そして研究など様々な活動を通じて心身ともに逞しく成長されたと思います。その過程で皆さんが培ってきた「できること」の質と量がこれからの人生を豊かにする源になります。また、これまで以上に広い世界で多くの素晴らしい人たちと関わりを持ち、その人たちから新たな事柄を学びとり、さらに大きく成長することを心から願っております。

卒業生の皆様の今後のご活躍とご健勝を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

卒業生へ贈る言葉

物質工学科５学年担任　**佐藤久美子**

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様も、この日を迎えられて安心され、そして大変お喜びのことと存じます。心よりお祝いを申し上げます。

今年度のC5は、男女ちょうど半数ずつのバランスの取れたクラスでしたが、やはり元気な女子学生たちがクラスを引っ張ってくれた感があります。１年間だけのクラス担任でしたが、いろいろな良い思い出を残してくれ、感無量です。これで、最後の物質工学科のクラスが卒業となりました。卒業生の皆さんには、健康に留意し仲間や周りの人たちを大事にし、楽しい人生を送ってほしいと思います。皆さんの活躍を楽しみにしています。

感恩戴徳

物質工学科５年　**林下　知未**
（洋野町立中野中学校出身）

八戸高専に入学した平成26年から５年が過ぎました。入学当初は長いと感じた５年という年月も今思うとあっという間に過ぎ、無事に卒業を迎える事が出来ました。ご指導ご支援賜りました先生方、保護者の皆様のおかげでございます。

高専生活を振り返ると、環境の変化が著しく、辛いことも多くありましたが、C5の仲間と過ごした時間は充実したかけがえのない宝物です。

これから私たちは、平成の時代の終わりと共にそれぞれ別の道を歩んでいくことになります。仲間のこれからの活躍を期待し、自分自身成長していきたいと思います。「今まで本当にお世話になりました。いつか笑ってまた再会しましょう。」

祝・卒業　本科生　建設環境工学科

卒業、おめでとうございます

環境都市・建築デザインコース長　**藤原　広和**

ご卒業おめでとうございます。卒業生の皆さん、ならびに保護者、ご関係の皆さまには心よりお慶び申し上げます。今振り返れば、あっという間の５年間だったのではないでしょうか。近年は毎年、日本は大きな災害に見舞われています。復興・防災・減災は土木・建築技術者の重要な使命です。設計ミス、施工ミスをしないことはもちろんですが、どんな仕事もチームワークが必要になります。就職、進学に関わらず、地域住民や国民のため、人類のために、今後も新たな知識の修得、技能の体得、問題・目的・プロ意識を持った偏見のない態度、そして自己の向上を継続してください。卒業生の皆さんの大いなるご活躍を祈念いたします。

ご卒業おめでとうございます

建設環境工学科５学年担任　**杉田　尚男**

５年間という、長い人生のごくごく一握りの時間の中で、皆さんは見違えるように立派に成長されました。これはひとえに、勉強で、部活動で、自主探究で達成感と挫折感を味わいながら、皆さん自身が学び得た努力の賜物です。そして、ご家族や先生方はもちろん、多くの友達との交流から得た優しさ、温かさによって育まれてきたからだと思います。私も高専の卒業生ですが、皆さんの屈託のない笑顔を拝見しておりますと、自身の少年時代のことと重ね合わせ、どこか懐かしく、温かな気持ちを持っております。曇りのない眼でまっすぐ進み、十年経っても二十年経っても希望に胸を躍らせる、そんな大人になってください。

高専生活

建設環境工学科５年　**上平千帆里**
（階上町立道仏中学校出身）

高専生活を思い返すと、語りきれないほどたくさんの思い出があります。卒業後の新しい生活への期待も大きのですが、みんなで笑ったり研究室で遊んだり放課後にラーメンを食べることができなくなると思うと少しさみしいです。Z5のみんな、こんな気持ちを教えてくれてありがとう。大げさかもしれないけど、みんなと仲良くなれてから毎日が楽しくて幸せでした。

社会に出ても、高専で学んだ多くのことを生かし精一杯努力していきます。

最後に、校長先生をはじめ諸先生方、そして両親、本当にお世話になりました。これからもどうかわたしたちを暖かく見守っていてください。

平成30年度　卒業生・修了生の進路状況

今年度の本科卒業予定者および専攻科修了予定者の進路状況を下表に示します。また、具体的な就職先、進学先については次ページの表のとおりです。

本科卒業予定者は171名であり、卒業予定者の45%（昨年度35%）に相当する77名が進学、88名が就職です。専攻科修了予定者は26名であり、修了予定者の73%（昨年度40%）に相当する19名が大学院に進学し、５名が就職します。本科、専攻科ともに昨年度に比べて進学者が大幅に増加しました。

本科生に対する求人数は2,723件（昨年度2,602件）、同じく専攻科では2,268件（昨年度2,017件）と、高い水準で推移しています。近年の人手不足を反映し、売り手市場傾向が続いていることが伺われます。企業の採用担当者からは、採用者数を増やしたい、新たに本科卒業生を採用したいという声を多数いただいており、今後も高い求人数が継続することを期待しております。

本科の進学先で最も多いのは本校専攻科で31名となりました。専攻科を選択した主な理由は、難関大学大学院への進学に有利であることや、本科で取り組んできた研究テーマの継続、海外留学の機会、そして国立大学と比較して学費が安いことなどが挙げられます。

専攻科の進学先では、東北大学大学院が12名と最も多く、ついで東京工業大学大学院及び、北海道大学大学院が各３名となっています。最近の傾向として、難関大学大学院も本校専攻科からの進学を歓迎しているようです。

さて、進路を選択するうえで最も重要なことは、やはり本人の心構えです。まず、10年後の自分の姿を想像してみてください。若手でありながら職場の責任ある立場で活躍している自分、新しい製品の開発に向けて研究を続ける自分、海外で活躍している自分、10年後の自分を変えるのは間違いなく現在の自分です。この10年をどう進むべきかよく自己分析してください。そのうえで必要な進路を自分で考え、そして自分で決定してください。そのためには、大学や企業のホームページやパンフレットを活用し、十分な情報収集を行ってください。また、インターンシップの機会も重要です。さらに、学内外で行われる大学や企業等の説明会にも積極的に参加しましょう。早いうちから進学、就職について考え、卒業後の進路を明確にしておくことが大切です。

多くの企業が学生に求める資質は、主体性、実行力、課題設定・問題解決能力、創造性、そしてコミュニケーション能力といわれています。これらの能力は、エントリーシートや適性検査、面接等で試されます。本校は求人数が多く、簡単に内定をいただけるように思われるかもしれませんが、企業の選考は意外に厳しいところがあります。能力があるのに準備不足で第一志望に合格できない場合も見受けられます。日頃から自己啓発を行うとともに、選考試験までに余裕をもって十分な対策をしておくことが重要です。

八戸近隣にも数多くの優れた企業があります。秋に開催されるCOC+あおもり県企業内容説明会や市内企業見学ツアー、３月の学内企業内容説明会等の機会を利用して企業研究に努めてください。

本校では平成30年度よりキャリア教育・支援センターが開設され、低学年からのキャリア教育をより一層充実させております。もし、進路について疑問等があったら、担任、コース長、進学相談担当教員等に早めに相談してください。さらに毎年発行している就職・進学ガイドブックも活用しましょう。先輩方のアドバイスはきっと参考になることでしょう。

就職担当幹事
長谷川　章（産業システム工学科長）

平成 31 年３月１日現在

本　科	卒業予定者			進学者（大学・専攻科）			就職者			その他			求人数	求人倍率
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	倍
機械工学科	36	1	37	15	1	16	19	0	19	2	0	2	811	42.7
電気情報工学科	42	6	48	19	2	21	22	3	25	1	1	2	843	33.7
物質工学科	22	23	45	13	6	19	8	17	25	1	0	1	503	20.1
建設環境工学科	28	13	41	18	3	21	9	10	19	1	0	1	566	29.8
計	128	43	171	65	12	77	58	30	88	5	1	6	2723	30.9

専攻科	修了予定者			大学院進学者			就職者			その他			求人数	求人倍率
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	倍
機械システムデザインコース	8	0	8	5	0	5	2	0	2	1	0	1	671	335.5
電気情報システム工学コース	5	0	5	5	0	5	0	0	0	0	0	0	689	
マテリアル・バイオ工学コース	4	6	10	2	4	6	1	2	3	1	0	1	421	140.3
環境都市・建築デザインコース	3	0	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	487	
計	20	6	26	15	4	19	3	2	5	2	0	2	2268	453.6

平成30年度　就職・進学先一覧

【就職―本科】

平成31年３月１日現在

就　職　先	M	E	C	Z	計
青森県				1	1
朝日インテック株式会社			1		1
旭化成株式会社			1		1
アステラス ファーマ テック株式会社			1		1
出光興産株式会社			1		1
ANA エンジンテクニクス株式会社	1				1
ANAベースメンテナンステクニクス株式会社	1				1
エーシーエム栃木株式会社			1		1
株式会社 NHK メディアテクノロジー		1			1
エヌケーケーシームレス鋼管株式会社	1				1
エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社				2	2
NTT 東日本グループ会社〈エンジニア〉	1	3			4
株式会社 NTT ファシリティーズ東北		1			1
エプソンアトミックス株式会社			1		1
オートリブ株式会社	1				1
花王株式会社			1		1
関東化学株式会社			1		1
株式会社カンドー		1		1	2
株式会社桐井製作所				2	2
株式会社クレオ	2	1			3
電源開発株式会社（J-POWER)				1	1
国土交通省関東地方整備局				1	1
国土交通省東北地方整備局				1	1
サクサシステムエンジニアリング株式会社		1			1
サントリービール　利根川工場	1				1
サントリーホールディングス株式会社			1		1
株式会社サンライズ・エー・イー		1			1
JX エルエヌジーサービス株式会社	1	1	1		3
JXTGエネルギー株式会社　中央技術研究所			1		1
塩野義製薬株式会社			1		1
株式会社シマノ		1			1
株式会社 SUBARU　群馬製作所	1				1
住友電工電子ワイヤー株式会社			1		1
大日精化工業株式会社		1			1
田中貴金属グループ　TANAKAホールディングス株式会社			1		1
多摩川精機株式会社	1				1
中発テクノ株式会社		1			1
株式会社デンロ コーポレーション				1	1
東海旅客鉄道株式会社（JR 東海）				1	1
東京エレクトロングループ	1				1
東京ガス株式会社			1		1
東京電力ホールディングス株式会社				1	1
東京都下水道サービス株式会社			1		1
東芝 IT サービス株式会社		1			1
東邦化学工業株式会社			1		1
東北電力株式会社		1			1
東北緑化環境保全株式会社			1		1
東洋インキ SC ホールディングス株式会社			1		1
東レ株式会社			1		1
日新興業株式会社	1				1
日鉄住金防蝕株式会社			1		1
日本アイ・ビー・エム　テクニカル・ソリューション株式会社		1			1
日本原燃株式会社	3			1	4
日本ファブテック株式会社				1	1
八戸ガス株式会社		1			1
八戸製錬株式会社八戸製錬所			1		1
八戸セメント株式会社			1		1
東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）盛岡支社				1	1
東日本高速道路株式会社（NEXCO 東日本）				1	1
東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）東北工事事務所				1	1
フードテクノエンジニアリング株式会社		1			1
富士アイティ株式会社		1			1
フジテック株式会社		2			2
株式会社ブリヂストン	1				1
穂積建設工業株式会社				2	2
株式会社マイスターエンジニアリング	1				1
三菱重工業株式会社	1	1			2
美和電気工業株式会社		1			1
メタウォーター株式会社		1			1
株式会社メンバーズ		1			1
雪印メグミルク株式会社			1		1
ユニチカ株式会社			1		1

【進学―本科】

進　学　先		M	E	C	Z	計
［大　学］	北海道大学	1			1	2
	室蘭工業大学		1	1		2
	岩手大学	2	3	1		6
	岩手県立大学		1			1
	秋田大学	1			1	2
	東北大学				1	1
	東北学院大学				1	1
	長岡技術科学大学	1	1	2	2	6
	茨城大学		1		1	2
	筑波大学		2			2
	宇都宮大学		2		1	3
	群馬大学			1		1
	東京大学			1		1
	東京工業大学		1			1
	東京農工大学	1		2		3
	首都大学東京				2	2
	電気通信大学		2			2
	埼玉大学				1	1
	金沢大学		1			1
	福井大学				1	1
	豊橋技術科学大学	1		1	1	3
	姫路獨協大学			1		1
	熊本大学				1	1
［専攻科］	八戸高専専攻科	9	6	9	7	31

【就職―専攻科】

就　職　先	AM	AE	AC	AZ	計
朝日インテック株式会社	1				1
NTT 東日本グループ会社〈エンジニア〉	1				1
中外製薬工業株式会社			1		1
DIC 株式会社			1		1
星光 PMC 株式会社			1		1

【進学―専攻科】

進　学　先	AM	AE	AC	AZ	計
北海道大学大学院			2	1	3
東北大学大学院	4	4	2	2	12
東京工業大学大学院		1	2		3
埼玉大学大学院	1				1

専攻科生　祝・修了

修了おめでとうございます

専攻科長　南　將人

専攻科修了、おめでとうございます。専攻科は、本科５年間で学んだ専門知識を基に、幅広く周辺知識を吸収し、豊かな人間性・創造性を身に付けた人材育成を目指しており、「連峰型創造性教育」と呼び本校の大きな特色となっています。特別研究発表会は、合併教室でのショートプレゼン、創立50周年記念ホールでのポスター発表そして特別研究の優秀賞の表彰式が行われました。ショートプレゼンは、ほぼ必修化しつつある英語で全員が発表を行いました。専攻科での挑戦的行動力に溢れた皆さんの今後の活躍を祈念すると伴に、後輩への良い刺激・目標となった事に感謝します。修了後は各自の道を進む事となりますが、八戸高専で学んだ事に自信と誇りを持ち、専攻科で学んだ知識を大いに活かして下さい。

最後に、保護者の皆様の御支援に感謝すると伴に、皆さんのさらなる御活躍と御健勝を心から祈念して、お祝いに代えさせて頂きます。

専攻科修了を迎えて

産業システム工学専攻・電気情報システム工学コース2年　石田　竜太

八戸高専専攻科に入学してから、はや２年が経ち修了を迎えようとしています。専攻科では多くのことを学び、勉学に励みました。特に本科５年生から３年間一つのテーマに従事し研究を行った経験はかけがえのないもので、今後様々な場面で活かされるものと考えています。また海外研修では、慣れない土地や言語での生活は苦労しましたが、新しい環境での貴重な体験を通して、実りある時間を過ごすことができ成長できたと思います。今後も本校で学んだことに自信と誇りを持ち、社会に貢献できるよう日々精進していきます。最後に、温かく見守って頂き、時には厳しく指導してくださった校長先生をはじめ、諸先生方に心より御礼申し上げます。また先輩、後輩そして２年間一緒に苦楽を共にした同級生に感謝申し上げます。この２年間の思い出を支えに頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

専攻科特別研究発表会表彰者

最優秀賞

日本・海外での研究活動を通して

産業システム工学専攻
マテリアル・バイオ工学コース　2年　大久保里穂

この度は、特別研究発表におきまして最優秀賞に選出していただき、ありがとうございます。ご指導いただいた先生方に心より感謝申し上げます。

４年間の研究活動の中で、本当に沢山のことを経験しました。その中でも、フランスの大学の研究室に配属された経験が印象的です。そこで研究者・技術者を目指す海外の学生たちと交流する中で、沢山の刺激を受けました。そしてその経験は、日本に帰ってから研究する上でも大きなモチベーションとなり、また、海外研修で鍛えた英語力を特別研究発表にも生かすことができました。今回の受賞で満足することなく、国際的な視野を持った研究者・技術者を目指し、進学先でも研究・勉学に励みたいと思います。

優秀賞

大学院での学習に向けて

産業システム工学専攻
機械システムデザインコース　2年　小笠原直人

はじめに、本研究を遂行するにあたり、終始懇切丁寧なご指導を賜りました赤垣先生、森先生、古川先生に心から感謝申し上げます。

４月に研究室を異動し、知識が乏しい状態からの研究でしたが、多くの方から支援をして頂き、特別研究を良い結果で終えることができたと思います。高専における３年間の研究活動を通して、専門教科における基礎知識を身につけると共に、研究に対する興味を高めることができました。大学院に進学後は、高専で学んだ知識と技能を活かしてより深い研究活動ができるように努力していきたいと思います。

優秀賞

研究活動を通して

産業システム工学専攻
環境都市・建築デザインコース　2年　髙橋　智樹

優秀賞を頂いたことに驚きを隠せないとともに感謝の気持ちでいっぱいです。このような賞を頂けたのも指導教員の先生方や研究室の仲間、アドバイスをくださった方々のおかげです。心から感謝申し上げます。３年間の研究活動は私を大きく成長させてくれたように感じます。専門分野の知識はもちろんではありますが、発表力や英会話能力の向上、マナー等を学ばせて頂きました。また、ポルトガルでの学会の参加を通して、英語での発表力や表現力が身についたとともに、各国が抱える環境や技術の問題を確認することができました。３年間の研究活動で学んだことを活かし、大学院でもより一層力を入れて研究していきたいです。

就職・進学体験記

就職活動体験記

建設環境工学科５年　奥村　泰輔
（弘前市立南中学校出身）

私は自身の進路を公務員と定め、国土交通省・東北地方整備局を受験しました。が、受験区分を間違え不合格になりました。その後、私の本命である青森県庁を受験しました。１次試験、２次試験を経て、合格への確かな手応えを感じていたものの、結果は不合格でした。

目標を失い、虚無感が心を覆いつつあったある日、昨年の見学旅行で訪れた橋梁会社の方と再会しました。その時の会話が転機となり、採用試験に臨みました。結果、採用内定をいただくことができました。

この１年間は今まで経験したことのないほどに挫折と挑戦の連続でした。これまで頑張れたのは常に支えてくれた、家族、先生方、友人たちがいたからです。本当に有難うございました。

専攻科進学について

機械工学科５年　木下　昂大
（八戸市立白山台中学校出身）

私は３年生の時から進学を考えており、４年生の時に専攻科への進学を志望することにしました。５年次の卒業研究を追究していくうえで、本科と環境が変わらないことや幅広い専門知識を学べる専攻科は進学に最適だと考えたからです。他にも、就職や進学において確かな実績があることなどの利点があったため、専攻科への進学を決意しました。推薦枠には入れなかったため、学力での受験となりました。

専攻科受験を通して、普段から継続して勉強することの大切さを理解しました。学力選抜試験での出題範囲はとても広いため、日頃から予習復習をして理解を深めておくことをお勧めします。受験では大きな苦労をすることもあると思いますが、あきらめずに頑張ってください。応援しています。

大学編入体験記

電気情報工学科５年　大澤　泰樹
（南部町立南部中学校出身）

私は本校の専攻科と東京工業大学の２校を受験しました。専攻科受験をする方は、まずTOEICの勉強をすることが大事です。TOEICの点数の有効期間は２年間なので、既に専攻科を希望する方は３年生の夏から受験することをお勧めします。

編入学を希望する方は４年生のうちから過去問を解き始めた方が良いと思います。過去問である程度問題の傾向を掴むことが対策の第一歩です。それから、分からない問題等があればすぐ先生に相談してみてください。八戸高専には頼れる先生方がたくさんいます！ また、編入の勉強で一番つらいのはメンタルです。就職を決めている人がいる中、一人で勉強し続けるのは想像以上に厳しいので、一緒に勉強する仲間を見つけてください。

最後に、出来れば目標は下げない方が良いです。周りで後悔している人を何人も見ました。最後まで諦めずに頑張ってください！

大学院入試体験記

産業システム工学専攻マテリアル・バイオ工学コース２年
関下あずさ

私は、北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻の特別推薦試験を受験しました。私は、大学院で生態学に関する研究を行いたいと考えていたため大学院進学にあたり一番初めに行ったことは研究対象としたい生物の決定でした。その後、その生物に関する研究を行っている研究室を探し研究室訪問を行いました。研究室訪問の際は、自分がどのような研究を行いたいのかを先行研究等調べた上で具体的に考えて臨むことをお勧めします。試験の内容は、面接にて基礎知識や今行っている研究、進学後行いたい研究について質疑応答を行うというものでした。試験対策として、生態学の勉強や先行研究の論文を読み理論や方法等理解するよう努めるなど行いました。

進学就職問わず自分の将来を決めるという非常に大きなプレッシャーを感じ大変かとは思いますが、健康に気を付けながら皆さん頑張って下さい。

退職するにあたって

皆様に感謝

中村　重人

平成９年４月に赴任してからもう少しで22年が経ちます。その間、平成22年４月から１年間、教員交流で福島高専へ行ってまいりましたので、21年間八戸高専にはお世話になったことになります。

赴任する前は、東北大学の旧素材工学研究所（現多元物質科学研究所）に勤めてまいりましたが、より学生の教育に携わりたく思い、仙台から八戸へやってきました。元々教員を目指し、大学では中学・高校の理科の教員免許を取得したこともあり、高校生年代からの学生に教えるのはそれなりに苦労もありましたが、やりがいのある現場となりました。

専門は分析化学ですが、赴任当初は無機化学関係の授業、実験が担当でした。その後、分析化学関連の担当となり、時には、１年生の化学も担当しました。全くなじみの無い専門科目の担当になり、資料をかき集めて必死に講義ノートを作った苦労も今では思い出の一つです。

校務として、担任、専攻主任、寮務主事補、物質工学科長、学生主事、寮務主事など経験させていただきました。様々な問題にぶつかり、迷いながらもその時その時に最善と思われることをやってきました。ここまで、何とかやってこられましたのも、教職員、学生、保護者の皆様のお力添えがあったからこそと感謝しております。長い間、本当にありがとうございました。

日々勉強

事務部長　笹垣　義美

平成27年４月に赴任してはや４年が過ぎようとしている。岡田校長、圓山校長のもとで４学期制・自主探究、事務改善・組織改革等多種多様な業務を経験させていただいた。日々、勉強の年月であった。定年退職を迎えるにあたり、ここ八戸高専での最後の４年間は貴重な時間であり今後も記憶に残る大切なものとなるであろう。

新任教職員紹介

① 氏名　② 出身地
③ 所属・職名　④ 前職

① 塚本　直樹　② 愛知県刈谷市
③ 総合科学教育科・特命助教
④ 東北大学学際科学フロンティア研究所・学術研究員

昨年12月１日付で八戸高専に着任した塚本です。2013年に博士の学位を取得後、上海の復旦大学と武漢の華中科技大学でそれぞれ２年ずつ博士研究員をしていました。

特命助教としての着任で、主な任務はタイ人留学生の理系科目のサポートです。先日、八戸高専に来春一年生として入学する学生にタイで会ってきました。「八戸高専では誰も知らないことを研究できるの？」と訊かれて大変喜ばしく思いました。

私の専門は一般相対性理論や宇宙物理で、私のささやかな人生の目標は物理学とともに生きていくことです。最近研究していることは、ブラックホール時空やワームホール時空での粒子衝突や安定性、重力波と重力レンズを用いた重力理論の制限です。

八戸高専生活を教職員や学生の皆さんと一緒に楽しく過ごしたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

① 杉山　暦　② 北海道札幌市
③ 総合科学教育科・特命准教授
④ 北海道大学国際教育研究センター（非常勤）

昨年12月１日付で総合科学教育科に着任しました杉山と申します。専門は日本語学、言語学、認知言語学ですが、隣接領域である日本語教育にも興味を持つようになり、大学院生時代からおよそ８年、日本語教師としてもキャリアを積んで参りました。

八戸高専では、今春より開始予定の「タイ政府奨学金留学生の受け入れ事業」における日本語指導を担当いたします。従来、日本語教育における高等教育は、主に18歳（大学１年生相当）以上の学生を対象に行われてきました。それに対し、今回の事業は15歳（高校１年生相当）からの受入という点で、高専のみならず日本語教育界にとっても極めて新規性の高い取り組みです。このような教育的、研究的価値のある取り組みに参加させていただき、大変ありがたく思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

見学旅行

電気情報工学コース４年　**平出優乃介**
（階上町立階上中学校出身）

私達は横浜を中心に海洋研究開発機構、J-POWER磯子火力発電所、東芝府中事業所、友伸エンジニアリング、そして、東京国際フォーラムではNECの展示会を見学しました。

海洋研究開発機構では「しんかい6500」、地球深部探査船「ちきゅう」などの技術や設備の説明、J-POWERでは火力発電の仕組みと発電までの流れに関して、模型を使って分かりやすく教えていただきました。東芝と友伸エンジニアリングではリレー回路を利用した制御機器の説明をしていただきました。

仕事現場も見ながら企業の概要など丁寧に説明してもらい、就職を考えるにあたって大変参考になるお話を聞くことができました。なかなかできない体験や普段見ることができない場所を見学することができ、大変貴重な経験をさせていただきました。また、普段学校生活を共にしているクラスメイトと学校以外で一緒に過ごし、より仲を深められたと思います。

インターンシップ

電気情報工学コース４年　**長内　広夢**
（青森市立甲田中学校出身）

僕の夢は自分が作ったものを宇宙に飛ばすことでした。昨年、学校で行われた企業説明会で宇宙に関われる企業を探したところ「竹田設計工業」という会社に興味を持ち、今年九月に愛知県にある竹田設計工業の本社で五日間のインターンシップに参加しました。インターンでは実際に現場で働くそれぞれの部署の方々のお話を聞き、現場を見させていただきながら、3DCADを使っての設計作業を体験させていただきました。僕は専門が機械ではないので、設計やCADに不慣れで四苦八苦しながら作業を行いましたが、一緒にインターンに参加した他高専生や大学生、職員の方に助けていただきながら何とか設計したものを完成させることができました。今回のインターンシップでは竹田設計工業という会社を知れたのはもちろん、社会で働くことの心構えや、何よりも一つの“モノ”を作り、完成させたときの喜びを知ることができ、とても貴重な体験をさせていただきました。

教務関係のお知らせとお願い

教務関係についてお知らせとお願いをいたします。　　教務主事　武尾　文雄

1. 4学期制と自主探究

平成31年度は１学科４コース制と４学期制を導入してから５年目となります。１年生から自主探究を経験してきた学生が5年生となり、卒業研究等においてもその成果が発揮されることを期待しています。

４学期や自主探究については、学生や保護者の皆様のご意見も伺いながら少しずつ実施方法を改善しています。今年度は秋学期の１～３学年に演習の授業を取り入れ、全員が毎日、朝から登校する形にしました。12月に実施した学生アンケートでは様々な意見をいただき感謝します。これらの意見も踏まえ、31年度も改善を図ることにしています。

2. 教室系無線LAN

平成29年度後半から研究や教育などの学術利用を目的としたWi-Fi接続が教室でも可能になりました。自主探究や卒業研究等で大いに活用して下さい。一方、放課後の低学年の教室では、スマートフォンを持ち寄ってオンラインゲームに興じる学生が目立つようになっており、学習への影響を懸念しています。ゲームをきっかけに情報の分野に興味を持ち、本校への入学を志した学生も居ることと思います。しかしゲームはあっという間に長時間を費やしがちで、自分ではコントロールが利かなくなる依存症の問題も提起されています。エンジニアになるための学習や部活動に向けるべき時間をゲームに費やしてしまうのは本末転倒です。今後、教室での接続時間の設定について検討することにしていますが、ご家庭においても使用時間のルールを決めるなど、スマートフォンとの上手な付き合いができるようご協力をお願いいたします。

3. Webシラバス・Blackboardの活用

平成30年度からWebシラバスのシステムが本格稼動しました。全国の高専が同一のシステムでシラバスを公開しています。本校のホームページからも入ることができますので是非活用して下さい。シラバスには授業の目的や概要、到達目標、週ごとの授業内容や評価方法が記載されています。その授業を通じて何ができるようになるのか、次の授業ではどのような内容が扱われるのかを知ることができますので、予習などにも役立てて下さい。また、本校の様々な規則や手続き等に関する内容がまとめられた学生便覧が、Blackboardに掲載されています。学生はいつでも参照できますので併せて活用して下さい。

4. 平成31年度行事予定

平成31年度は天皇即位に伴う休日が設定され、特に前半に休日が多くなりました。このため、春・夏学期の授業日数の確保が難しくなり、８月上旬に実施される夏学期到達度試験の答案返却期間が９月末に設定されています。試験結果の通知は10月になる見通しですので、ご理解のほどお願いいたします。

5. 機関別認証評価

全国の大学や高専は、教育・研究や組織運営などの総合的な状況に関する第三者評価である機関別認証評価を7年以内毎に受ける義務があり、本校は平成30年度に受審しました。昨年６月末に提出した自己評価書を基に、11月27・28日には８名の審査員が来校して訪問調査が行われました。当日は授業や学校設備の視察、試験答案のコピーを含めた成績資料の調査をはじめ、在学生、卒業・修了生、教員・職員との面談などが行われました。その結果、本校は全ての評価基準を満たしており、自主探究や国際交流活動など多くの点で優れた取り組みを行っていると評価されました。評価結果は、大学改革支援・学位授与機構のホームページに公開されることになっています。面談等にご協力いただいた学生の皆さんに、この場を借りて感謝いたします。

学生の皆さんは、一流の技術者や研究者になることを目指して本校に入学されたことと思います。したがって、将来の自分のために本校で何を身につけて卒業するかが重要です。学生一人ひとりが、自分の将来を見据えながら目標を持ち、充実した学校生活を送れるよう、ご家庭においてもご理解とご支援をお願い申し上げます。

厚生補導委員会より

学生主事　河村　信治

H30年度後半の厚生補導関係の話題です。

◆学生会関係

第52回高専祭が10月20日（土）～21日（日）に開催されました。テーマは「英姿颯爽」。実行委員長によれば、新しいことに堂々と挑戦し、活気に満ちた高専生で盛り上がろう、という思いが込められているとのこと。今年も期間中は天候に恵まれ、順調な開催でした。期待される向きの多かった花火の復活は残念ながら叶わず、また企画や展示の内容的にとくに斬新なものはなかったかもしれません。ただ高専祭実行委員会には、開催・実施までの地道な課題にしっかり取り組んでもらい、情報発信や場内誘導ほか、運営上改善された点が多数ありました。各局リーダーたちの高専祭への想いを例年以上に感じ、学生主事として感謝しています。恒例（と思われている）イベントを、惰性でなく継承していくことも貴重なレガシーといえるでしょう。

先に高専祭実行委員会を称えましたが、学生会執行部も安定した体制が継承されています。しっかり仕事がデキる、学生からも学校からも信頼されてきた前会長と前執行部の皆さん、１年間大変お疲れさまでした。そして12月１日から新たな学生会執行部がスタートしました。前副会長から、選挙（信任投票）で新会長に選ばれたZ4工藤拓也君を代表に新執行部のみなさん、またこれから学校と学生会が協働で取り組むべき課題がいろいろありますので、よろしくお願いします。

◆学生支援体制

本校ではこれまでもスクールカウンセラー（SC）として精神科医師、産業カウンセラー、臨床心理士が定期的に来校して学生の相談を受けています。さらに今年度途中からスクールソーシャルワーカー（SSW）として社会福祉士も来校し、教員やカウンセラーと連携して相談できる体制となるなど、学生を取り巻く環境への支援体制はさらに充実しています。

◆部活・課外活動

以前から話題に取り上げてきましたが、昨年３月にスポーツ庁が中学・高校向けの運動部活動のガイドラインを策定し、スポーツ科学に基づいて長時間活動に歯止めをかける等の指針を示しました。これに準じて青森県教育委員会も12月に新たな「運動部活動の指針」を定め、また文化部についても、文化庁が12月に「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定しました。これらの指針を参考に、東北地区の他高専とも情報交換しつつ、本校におけるクラブ活動に係る活動方針と課外活動のルールの見直しを進めております。部活の休養日や活動時間の設定等については、すでに今年度から取り組んでまいりました。高校～大学年代に跨る高専固有の立場の難しさとして、幅広い課外活動の意義を認めつつ、指導・管理体制（顧問、指導員）、費用負担の問題など、さらなる改正を進めていかなければなりません。

いろいろ制約の話題が多く心苦しいところではありますが、そんな中での学生たちの健闘にはたいへん励まされる思いです。

本田宗一郎杯 Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2018 第38回 全国大会 グループⅢ（大学･短大･高専・専門学校生クラス）において、八戸高専自動車工学部NP号Ⅳが、出走74台中１位で優勝を果たしました。2001年度に現在の表彰規定になって以来、高専チームが優勝したのは全国初の快挙とのことです。おめでとうございます。

◆生活指導関係

低学年生の制服着用、携帯スマホ等使用ルールの乱れが目につきます。あらためて気を引き締めてもらいたいと思います。また仲良くしているつもりで、敬意や配慮を欠いた言動で、人にストレスを与えてしまう事案が、軽微なものも含め目立ちました。いじめと認められればもちろん厳しい指導対象となります。また新年度には、本科１、２年次にタイ国からの留学生を迎えることになっています。人権や共生についての感覚をいっそう磨いてほしいと願っています。「君は君　我は我なり　されど仲良き」（武者小路実篤）

北辰寮から

今年度の北辰寮と未来に向けて

寮務主事　中村　重人

今年度も北辰寮では種々の変革を行ってきました。まず、今まで男子では１年生フロアと２，３年生の混合フロアを分けていましたが、すべてのフロアに１年生が入るように居室の配置を変えました。また、例年、新入寮生歓迎会では、新入１年生寮生の自己紹介において、上級生のヤジや種々の強要があり、新入寮生にとってはストレス、見ている者にとっても不快に感じる場面がありました。今年度は、新入寮生の氏名と出身中学校の紹介を対面式で行い、各フロアでの親睦会で寮生同士の交流を深めることとしました。

来年度、Ｅ棟は国際寮となり、日本人学生と留学生の混住するフロアができる予定です。Ｅ棟の改修工事のため、秋学期の部屋替えの際に、Ｅ棟の男子高学年寮生をＮ棟とＷ棟１階フロアに移動させました。国際寮への入寮希望者を募り、来年度の入寮者を決定しましたが、Ｅ棟へ移動できる時期が後ろにずれ込むことになったため、新年度はとりあえず、男子はＬ棟、女子はＢ棟１階に入って共同生活を始めてもらうことになりました。国際寮の寮生募集に関しましては、募集内容等を途中で変更しご迷惑をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。

学寮運営費についてですが、この冬にかけ、重油、ガスの単価が急上昇し、風呂や暖房などでの支出が心配されましたが、その後単価が若干下がってきましたので、何とか運営できそうであると判断し、追加徴収は見送りました。しかし、来年度も入寮者の減少が見込まれ収入が減る中で、恒常的にかかる支出はそれほど減らないことから、若干の学寮運営費の増額を検討しております。

来年度は、北辰寮に国際寮ができ、これから留学生がさらに増加していく予定です。北辰寮も留学生の力を借りながら国際化に進んでいくものと思われ、寮生や保護者の皆様のご協力がますます必要となることでしょう。今後とも、学寮の運営に対し、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新総代挨拶

機械システムデザインコース４年　市川　雄也
（東北町立上北中学校出身）

皆さん、初めまして。新しく北辰寮総代になりました市川雄也です。総代選挙の際は、多くの寮生に信任していただき大変感謝しています。

さて、学寮では、親元を離れ、同学年や先輩たちとの共同生活をし、自分のことは自分で行う必要があります。これは、自宅では絶対に経験できない実に貴重な体験です。きっと、低学年生ほど、自分の成長を実感していることでしょう。また、寮には、寮祭などの独自の行事もあります。充実した寮生活によって、新しく幅広い人脈も築けるので、これもまた、きっと将来のかけがえのない財産にもなることでしょう。来年度から、寮には国際寮が新設されます。八戸にいながら海外と同等の環境が誕生します。高専での専門知識とともに、語学や異文化理解学習などにも磨きをかけ、そして何よりも楽しく身に付けることは学寮の新たな魅力になりそうです。この学寮で、海外の新たな友人を作り、時代の変化に対応できる人に成長したいものです。来年度は、留学生のよき手本となるためにも、これまで以上に挨拶や清掃も丁寧に行い、活気溢れる寮にしていきましょう。私は、この実現のために、寮生の手本になることを誓います。寮生会としても、寮内行事を見直し、さらに快適な寮生活を目指し活動していきます。また、私は、寮生の声にも真摯に耳を傾け、誠実をモットーにその職責を果たしたいと思います。その実現に向け、私は、寮生とのコミュニケーションを積極的に取りたいです。皆さん、私に気軽に声を掛けてください。私たちは、これまで、寮務委員の教職員の方々にかなり甘えて、わがままを言ってきました。これからは、自らの襟を正し、寮生が主体的に活動する寮も目指したいと思います。それには、皆さんの協力が不可欠です。皆さんの協力で、今よりも快適な寮生活を一緒に作り上げましょう。

平成30年度 自主探究ポスター発表会

４学期制実施部会　中村　美道

自主探究ポスター発表会が平成30年11月19～21日（１～３年生発表）、22日（４、５年生発表）が本校体育館で開催されました。自主探究活動成果を学内外に広く公表する同発表会では、来場者全員が審査資格を持ち、投票という形で審査に参加することができます。来場者との“face-to-face”コミュニケーションによって、学生一人ひとりが多様な視点からの批評を受け、自分の研究成果を客観的に振り返る機会になりました。思いもよらぬ応用・発展のヒントを掴む学生もいました。

自主探究学習導入から４年目となる今年度は、国際自主探究の区分の成果発表枠が新たに設けられました（図１）。海外学生の研究成果ポスターも展示されました（図２）。

図１　国際自主探究ポスター発表で海外学生と議論中の本校学生

図２　海外学生のポスター掲示コーナー

その一方で、高専生の視点で八戸市や青森県、東北地方の地域活性に焦点を当てた研究が多かったことも今年度の特徴です。誰にとっても身近なテーマであり、来場者の注目を集めました。

低学年生に関しては、昨年度導入のショートプレゼンテーションが午前中に行われました。１分の持ち時間の中で、来場者の関心を引きつけ、午後のポスター発表に繋げます。ポスター発表会場では自ら製作した装置・発明品等を手に説明する学生もいて、来場者は興味深く説明に聞き入っていました。

１年生にとっては初めての自主探究ですが、他の学年に負けないぐらい来場者の高い関心を集めました。１年生だからこその、既存の枠に囚われない自由な発想に基づく研究が多く見られました。

「自分で課題（研究テーマ）を見つけることが最も難しい」という悩みは学年によらず共通しています。誰もが“産みの苦しみ”を経験する証拠でもあります。これを乗り越え、研究の方向性を自分で築き、進捗を学生同士で報告し合い、議論の経験を積みます。こうした一連のプロセスの集大成であるポスター発表会の主な賞の受賞者は以下のとおりです。

【校長賞】
Z3-40　森田菜々子
（第３学年最優秀賞、審査員特別賞も受賞）

【審査員特別賞】
L3-20　母良田　友、L1-41 寺尾　千夏、
C2-24　田端　千聖、C2-38 三浦　光陽、
M3-09 小川　泰青、C3-04 蛯名　優花
M3-40 柳沢　啓斗

【第１学年最優秀賞】
L3-17　田畑　玲穏

【第２学年最優秀賞】
E2-04　上沢　悠三

【国際第１学年最優秀賞】
L3-23　小笠原叶笑

【国際第２学年最優秀賞】
C2-03　五十嵐　慧

【国際第３学年最優秀賞】
E3-37　山地　龍生

平成30年度
世界に通用する技術者の育成に向けて

国際交流センター長　**阿部　恵**

本校は、国際社会で活躍できるグローバルエンジニア育成に向けて様々な活動を実施しております。平成30年度も海外の連携校との交流を推進し、海外インターンシップ・海外研修プログラムでは、フランス、シンガポール、モンゴル、ニュージーランド、カナダ、中国、イギリス、タイ、アイルランド、アメリカに合計47名（内３名は３月予定）の学生を派遣して、研究プロジェクトや国際自主探究等を行いました。海外派遣の他に、八戸高専のキャンパスでも様々な国際活動を行っています。今年度もフランス人学生４名が３ヶ月間本校で研究プロジェクトに取り組み、発表しました。

多様な文化や異なる価値観をもつメンバーとスムーズにコミュニケーションをとり、問題発見・解決に取り組めることを目的に、「異文化コミュニケーションワークショップ」（12月）や「SDGsワークショップ」（１月～３月）を実施しています。

グローバルリーダーシップを備えた人材育成にも力を入れています。多様な文化や異なる価値観をもつメンバーをリードして活躍できるよう、シンガポール、モンゴル、タイ、三沢基地内のエドグレン高校から合計17名の学生を招聘して、「国際セミナー」を実施し、多国籍・多文化グループで問題発見・解決に取り組みました。また、英語力向上に向けて、「オンライン英会話」（マンツーマン）を実施しました。学生たちは国際交流活動を通して、多角的、多面的な物事の見方や考え方を理解することにより、大きく成長しています。

学生のグローバル力やリーダーシップ力向上の他に、教職員のグローバル教育力向上にも力を入れています。米国アリゾナ大学に教員を派遣して、専門科目の教員が「英語で授業するための研修」、教職員対象の「オンライン英会話」の受講や「異文化理解ワークショップ」を実施しました。今後、さらに国際交流活動を拡大していく予定です。

●今年度も本校は国立高専の第一ブロック（東北・北海道地区高専の９高専）のグローバル高専拠点校として３年目の活動を行いました。グローバル高専事業は、世界に通用する技術者の育成を目指し、他高専にもグローバル教育事業を展開するプログラムです。

●平成29年度から本校は高専機構が進める高専（KOSEN）海外展開事業におけるモンゴル協力支援校に任命されました。都城高専を幹事校とし、他の協力支援校とモンゴルの3高専へカリキュラムの構築、教員の研修、学生への実験の指導、実験機材の整備、インターンシップ等の支援を実施していきます。

●「KOSEN（高専）4.0イニシアティブ」に採択され、今年度は国際自主探究（モンゴル、シンガポール）と専攻科生のインターンシップ（モンゴル）を実施しました。

＊（独）国立高等専門学校機構は、全国51高専の中から９高専をグローバル高専に指定しました。

平成30年度受入・派遣人数

	交流国	人数（合計）
受入	・フランス　・タイ　・シンガポール ・アメリカ　・モンゴル	21名
派遣	・モンゴル　・フランス　・シンガポール ・カナダ　・中国　・ニュージーランド ・タイ　・イギリス　・アメリカ	47名

男女共同参画委員会から

女性研究者のロール・モデルは研究者のロール・モデル

男女共同参画委員長　**戸田山みどり**

今年度も第一線で活躍されている女性研究者をお招きしてご自分の研究を紹介していただくとともに、女子学生への激励をしていただくロール・モデル講演会を、なんと３回も開催することができました。以下、報告です。

11月には２学年全員を対象としたロール・モデル講演会①を以下のように開催しました。

講師：名古屋大学大学院生命農学研究科森林・環境資源科学専攻　森林環境資源学研究室　竹中千里先生

演題：Enjoyフィールド研究－男も女も－

学生時代に初の女性研究者として研究船に乗り込んで長期航海を体験、南極での調査にも参加、いまは熱帯雨林や福島の原発事故後の森林で試料を蒐集するフットワークの軽さが印象的でした。

12月には１学年対象に、ものづくり基礎の授業の中でロール・モデル講演会②を実施しました。

講師：奈良工業高等専門学校長　後藤景子先生

演題：ユーザー目線からの研究
－快適衣環境の創出を目指して－

高専初の女性校長である後藤先生は家政学の研究者です。プラズマを利用した洗浄方法の開発について、実験の手順をとてもわかりやすくお話しいただき、１年生が聞き入っていました。

２月には今年の男女共同参画の総まとめとなるようなお話しをうかがうことができました。

講師：東北大学副学長（広報・共同参画担当）
東北大学男女共同参画推進センター長
医学部・医学系研究科教授　大隅典子先生

演題：理系女性のライフプラン～人生色々～

理系に女性の研究者が少ないのは社会の思い込みの影響であること、女性が働きやすいと生まれる子どもの数が増えること、女性ももっと自信をもって挑戦していきましょう、男性はもっと協力してくださいね、とデータを示してわかりやすく説明していただきました。あわせて実施した女子学生によるポスター発表でも、学生の発表に熱心に耳を傾け適格に質問していただきました。まさしく目標とすべき研究者の姿を見る思いでした。

キャリア教育・支援センターから

人生の先輩のお話しをきく

キャリア教育・支援センター長　**戸田山みどり**

キャリア教育・支援センターにとっては、いささか手探りの１年目でした。秋学期から冬学期にかけて実施した講演会のいくつかと１年生むけのキャリア教育の授業についてご紹介します。

10月から11月の秋学期には、コース別の２～３年生むけに以下のような講演会を実施しました。

○機械システムデザインコース

講師：東北大学流体科学研究所　伊賀由佳先生、鈴木杏奈先生、安西眸先生、焼野藍子先生

機械系の女性研究者４名による研究紹介でした。

○電気情報工学コース

講師：岩手大学理工学部システム創成工学科
電気電子通信コース　長田　洋先生
知能・メディア情報コース　萩原義裕先生

最先端の研究を興味深く説明していただきました。

○マテリアル・バイオ工学コース

講師：東北大学多元物質科学研究所所長
村松淳司先生

大学の研究所と高専との違いがよくわかりました。

○環境都市・建築デザインコース

講師：八戸市まちなか広場マチニワアドバイザー
山下　裕子氏

各地の中心市街地のにぎわいをつくりだす最新の取組についてうかがいました。

冬学期には担当する１年生の「ものづくり基礎」という授業の中で、地域で活躍するOB/OGのお話しをうかがう機会を持てました。地元企業に長く努めている先輩方からのお話しは、社会で高専生はどのようなことを期待されているのか具体的に示してくださり、この学校で勉強することの意味をあらためて確認する機会となりました。一方、高専時代はあまり先のことを考えていなかったと告白した20代のOBのお話しには、ゆっくり考えてもよいのだ、と励まされたようです。最初は「ものづくり」というのに、なぜキャリアの話なのだろうと釈然としない様子だった1年生も、最後には「もの」をつくるエンジニアになるための「ひとづくり」の授業だと納得してもらえたのではないかと考えています。

留学生報告

モリス・マイケル

本年度の新規長期留学生は、３年生に、タイのチャンタチォット パシットさん（トゥイ）とモンゴルのトゥグストゥグルドル エルデネバト（トゥグス）の２人の新入生を迎えました。また、４月から６月にかけて４人の短期交換留学生がフランスから来ました。

4月には、桜、弘前城、そして山を見に弘前公園を訪れました。

たこ焼きパーティー、餃子パーティーなど、たくさんのイベントを企画しました。

10月に行われた高専祭ではトゥイさんのおかげで伝統的なタイ料理を作ることができました。食べ物はソムタンと呼ばれるもので、スパイシーで酸っぱい食べ物でした。とても人気があり、販売開始から数時間後には完売していました。

また、弘前市の岩木山青少年スポーツセンターの青森県留学生ジャンボリーに参加しました。彼らは青森りんごについて学び、味見もしました。グループでりんごのカレーを作り、他の多くの国から来た外国人留学生と会い、話す機会がありました。そして、リンゴヤシや風呂敷、陶器など、地元産の工芸品を経験するために板柳町のリンゴ工房を訪れました。

11月には、タイ、モンゴル、シンガポールからのゲストが国際自主探究に参加しました。海外の方々とイベント、ディナーパーティー、ワークショップ、文化交流など、多くのイベントを行いました。

相談室から

相談室長　矢口　淳一

いろいろな悩みを持つことはごく当たり前のことです。夜なかなか眠れない、気の疲れがある、学校で自分の居場所がないなどから、授業がおもしろくない、勉強方法が分からない、進路について悩んでいるといったことまで、相談室ではあらゆる悩みの相談にのっています。

また、こころの病にかかりそう、といった切実な悩みには専門のカウンセラーなどによる支援を行っています。精神科医も定期的に来校していますので、学生はもちろん保護者の皆さんもお気軽にご相談ください。小中学校で発達障害等の診断を受けている場合や、発達障害等が疑われる場合で支援が必要と思われる際にはお知らせください。障害を理由とする差別の解消に関する相談窓口を設けておりますので、ご相談の上支援チームを組むなど、適切に対応していきます。いずれの場合も秘密は厳守します。

昨年11月末から社会福祉士の資格をもつ**スクールソーシャルワーカー**（SSW）が月・水・金曜日（15：00 ～ 18：00）に来校しています。家庭や学外でトラブルが生じた場合などに是非ご相談ください。

相談室では、12月７日（金）の特活の時間に１年生対象の講演会を開催しました。『自分理解のススメ』というテーマで、本校カウンセラーで臨床心理士の土屋文彦先生を講師として、エコグラムによる自己分析を通して自分自身を見つめてもらいました。また12月には、２回目の相談室担当教員との面談『話してみよう！　１分間』を実施しました。この面談を通してさらに相談しやすくなればよいと思っています。

学年末を迎え、不安な気持ちでいる学生も多いと思います。相談室はこころの窓口ですので、気軽にノックしてください。

☆相談室連絡先　電話 0178-27-7236
（保健室・石川）

☆学生本人と保護者の方々が利用になれる高専機構の「KOSEN健康相談室」
フリーダイヤル 0120-50・24・12 もあります。
（受付時間：24時間365日）

COC/COC+事業

COC事業推進責任者　丸岡　晃

八戸高専では、文部科学省によって支援されているCOC事業およびCOC+事業によって、地域社会との連携、課題解決が実施されてきています。

1．COC事業とは

「地（知）の拠点（Center of Community）整備事業」の略称であり、文部科学省が国内の大学を対象として、「地域社会との連携強化による地域の課題解決」や「地域振興策の立案・実施を視野に入れた取り組み」をバックアップする施策です。本校は平成26年度に採択され、平成30年度までの５年間実施されます。

本校で採択された事業名は「青森の資源や人財のコンピテンシィ育成拠点プログラム」です。事業の目的は、八戸市およびその周辺地域において、農水産資源や多様なエネルギーの有効利用、産業の活性化と国際的人材育成という課題に対して、地域との効果的な連携を構築しながら解決を図り、平成27年度の学科再編に伴う組織改革・カリキュラム改正に反映させることで、地域志向性をより高くした教育を展開し、地域ニーズに応じた社会貢献を実施していくことです。

2．COC+事業とは

「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」の略称で、平成27年度にCOC事業の発展させたものとして文部科学省より公募されました。大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的としています。青森県では、弘前大学が中核となり、青森県の最大の課題である「人口減少克服」を目的とした「オール青森で取り組む『地域創生人財』育成・定着事業」が採択され、平成31年度までの５年間実施されます。

八戸高専での担当は、「ブロック事業」として八戸ブロックで産学官による就学・起業支援の展開と、「雇用創出連携プロジェクト」として「ライフ（医工連携）関連産業プロジェクト」を担当しています。

3．COC事業の成果

COC事業については、平成30年度が最終年度であり、この原稿が発行されるころには、「COCフォーラム～最終成果報告会～」（平成31年２月26日）が行われ、ほぼ全てのCOC事業が終了していることになります。

COC事業を通して、教育面では、地域志向性を高めるため、多くの授業の中で、地域を知り、地域の課題を解決するような内容を積極的に組み込んでまいりました。本校のディプロマ･ポリシーにも「DP5地域社会への貢献」が加えられ今後も地域志向性の高い教育を継続していくことになります。

研究面では、地域課題解決型研究開発プロジェクトや、地域ニーズ受け入れ体制の強化によって、卒業研究・特別研究で地域の課題解決をテーマとした割合が平成26年度の20%から平成30年度には39%へと高めることができました。

社会貢献面では、出前授業、公開講座の充実や、「まちなか文化祭」の実施、また、中学校教員を対象にした「クリスマス･レクチャー」等によって、地域に対して、多くの学生、教職員が関わる機会を作ることができました。

５年間のCOC事業によって、学生、教職員の地域への意識が高まり、八戸高専における地域志向への取り組みを定着することができたと考えています。

4．COC+事業の取り組み

八戸高専が主体となり実施している事業は、あおもり県企業内容説明会、企業見学会、イノベーション・ベンチャー・アイデアコンテスト、医工連携による新技術や医療福祉サービスの開発です。平成31年度も引き続き事業を継続していくことになります。

※COC/COC+事業の詳細は、下記URLをご参照下さい。
http://www.hachinohe-ct.ac.jp/coc/

ブックハンティング 実　施　報　告

平成30年７月11日（水）に伊吉書院西店において、恒例のブックハンティングを実施しました。参加者は学生会図書委員が中心で、情報工学、技術工学、小説などが主に選書されました。

図書館ではブックハンティングコーナーを設けて展示し、皆様のご利用をお待ちしています。

●ブックハンティングでの選書紹介（一部）

書名	著者名
ヘンな論文	サンキュータツオ
AI vs. 教科書が読めない子どもたち	新井　紀子
読み出したらとまらない雑学の本	竹内　　均
「やりがいのある仕事」という幻想	森　　博嗣
人口減少時代の都市：成熟型のまちづくりへ	諸富　　徹
職場のハラスメント：なぜ起こり、どう対処すべきか	大和田敢太
目からウロコの自然観察：カラー版	唐沢　孝一
ふしぎな県境：歩ける、またげる、愉しめる：カラー版	西村まさゆき
地元の力を生かす「ご当地企業」：ビッグデータで読み解く47都道府県	帝国データバンク 中村　宏之
ANAが大切にしている習慣	ANAビジネスソリューション
消費税をどうするか：再分配と負担の視点から	小此木　潔
国道の謎：思わず訪ねてみたくなる「酷道・珍道」大全	風　来　堂
不死身の特攻兵：軍神はなぜ上官に反抗したか	鴻上　尚史
デザインが日本を変える：日本人の美意識を取り戻す	前田　育男
なぜ、わが子を棄てるのか：「赤ちゃんポスト」10年の真実	NHK取材班
逃げる力	百田　尚樹
自分のことだけ考える。：無駄なものにふりまわされないメンタル術	堀江　貴文
ドッグファイトの科学：知られざる空中戦闘機動の秘密	赤塚　　聡
日本列島創生論：地方は国家の希望なり	石破　　茂
生きてこそ	瀬戸内寂聴
多動力	堀江　貴文
QUEST：結果を勝ち取る力	池田　貴将
君たちはどう生きるか	吉野源三郎
「20代」でやっておきたいこと	川北　義則
エリア別だから流れがつながる世界史	かみゆ歴史編集部
テーマ別だから理解が深まる日本史	かみゆ歴史編集部

書名	著者名
世界一おもしろい国旗の本	ロバート・G・フレッソン
青森の逆襲：“地の果て”を楽しむ逆転の発想	福井　次郎
好き嫌い：行動科学最大の謎	トム・ヴァンダービルト
「気の使い方」がうまい人	山崎　武也
まんがでわかる伝え方が９割	佐々木圭一
殺人犯はそこにいる：隠蔽された北関東連続幼女誘拐殺人事件	清水　　潔
子どもの才能を引き出す最高の学びプログラミング教育	石嶋　洋平
時間を忘れるほど面白い理科系雑学	竹内　　均
The Real Mars火星の素顔	沼澤　茂美 脇屋奈々代
北極がなくなる日	ピーター・ワダムズ
人工衛星をつくる：設計から打ち上げまで	宮崎　康行
儲かる日本語損する日本語：相手の心が思わず動く24の法則	野呂エイシロウ
解体・破砕・破壊：写真資料集	ジェイズパブリッシング
大山竜作品集＆造形テクニック	大山　　竜
働く男	星野　　源
Unityの教科書：Unity 2018完全対応版：2D&3Dスマートフォンゲーム入門講座：はじめてでも安心！	北村　愛実
３分間で話せる！ 短い短いスピーチ：ワンポイントアドバイス付	つちや書店編集部
大人の語彙力ノート：「誰からも「できる！」と思われる	齋藤　　孝
悪いものが、来ませんように	芦沢　　央
玉依姫	阿部　智里
空棺の烏	阿部　智里
黄金（きん）の烏	阿部　智里
烏は主を選ばない	阿部　智里
烏に単は似合わない	阿部　智里
安楽病棟	帚木　蓬生
恋のゴンドラ	東野　圭吾
人魚の眠る家	東野　圭吾
未来のミライ	細田　　守
空飛ぶタイヤ	池井戸　潤
傘をもたない蟻たちは	加藤シゲアキ
Burn.（バーン）	加藤シゲアキ
ピンクとグレー	加藤シゲアキ
閃光スクランブル	加藤シゲアキ
クララ殺し	小林　泰三
ドロシイ殺し	小林　泰三
万引き家族	是枝　裕和
いなくなれ、群青	河野　　裕
凶器は壊れた黒の叫び	河野　　裕
夜空の呪いに色はない	河野　　裕
その白さえ嘘だとしても	河野　　裕

第55回東北地区高等専門学校体育大会ラグビー競技結果

日　程	大会会場	結　果
H30.10/19 ～ 23	みやぎ生協めぐみ野サッカー場	２回戦敗退

第53回全国高等専門学校体育大会結果一覧

個人の部

競技名	種　目　名	科年	氏　名	成　績
陸上競技	男子200m	Ｍ３	水　口　広　太	予選敗退
	男子800m	Ｅ１	立　﨑　達　也	予選敗退
	男子1500m	Ｃ５	小　山　浩　亮	予選敗退
	男子5000m	Ｃ５	小　橋　和　樹	予選敗退
	男子110mH	Ｚ５	赤　坂　健　太	予選敗退
	男子4×100mR	Ｍ５	川　渡　拓　真	予選敗退
		Ｅ５	髙比座　海　斗	
		Ｅ５	山　田　聖　弥	
		Ｚ５	赤　坂　健　太	
		Ｍ３	水　口　広　太	
		Ｍ３	井　筒　将　大	
	男子走高跳	Ｚ５	赤　坂　健　太	10位
	男子走幅跳	Ｅ５	髙比座　海　斗	14位
	男子三段跳	Ｅ５	髙比座　海　斗	11位
	男子やり投	Ｍ３	井　筒　将　大	７位
	女子800m	Ｚ１	飯　田　璃　咲	予選敗退
	女子800m	Ｚ３	宮　　珠　莉	予選敗退
	女子4×100mR	Ｃ１	福　田　知　子	予選敗退
		Ｃ５	津　村　舞　奈	
		Ｃ１	根　城　響　子	
		Ｚ１	飯　田　璃　咲	
		Ｚ３	畑　中　祐　香	
		Ｃ２	中　島　彩　稀	
	女子走高跳	Ｃ５	津　村　舞　奈	７位
	女子走高跳	Ｃ１	根　城　響　子	記録なし
	女子砲丸投	Ｃ１	福　田　知　子	６位
	女子砲丸投	Ｃ１	根　城　響　子	15位
柔　　道	女子	Ｚ２	赤　石　知　観	３位
卓　　球	男子シングルス	Ｍ３	原　　颯　杜	３位決定トーナメント１回戦敗退
	男子シングルス	Ｚ５	山　本　　凌	予選リーグ敗退
	男子ダブルス	Ｚ５	山　本　　凌	３位
		Ｚ４	畑　中　亮　祐	
テ　ニ　ス	男子シングルス	Ｚ３	佐々木　　駿	１回戦敗退
水　　泳	男子800m 自由形	Ｃ１	佐　藤　光　翼	タイム決勝21位
	男子200m バタフライ	Ｍ３	嵯　峨　駿　佑	予選敗退
	女子200m 個人メドレー	Ｚ４	椛　本　知　里	予選敗退

第５回全国高等専門学校弓道大会結果一覧

種　目　名	科年	氏　名	成　績
男子団体の部	Ｚ３	剣　吉　辰　哉	予選敗退
	Ｚ３	鳳　至　英　真	
	Ｃ２	永　沢　颯士郎	
	Ｃ４	川　崎　利　貴	
	Ｅ４	山　一　竜　光	
男子個人の部	Ｚ３	剣　吉　辰　哉	予選敗退
女子個人の部	Ｍ４	花　田　るえ野	予選敗退

平成30年度 各種コンテスト結果一覧

アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2018 東北地区大会

日程：平成30年11月４日（日）
会場：鶴岡市藤島体育館（山形県鶴岡市）
結果：Aチーム　Wait Less リーグ敗退
（４位/ ４チーム）
Bチーム　Black TAIL リーグ敗退
（２位/ ３チーム）特別賞

本田宗一郎杯 Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2018 第38回 全国大会

日程：平成30年９月29日（土）～９月30日（日）
会場：ツインリンクもてぎ（栃木県芳賀郡茂木町）
結果：八戸高専自動車工学部NP号Ⅳ
グループⅢ（大学、短大、高専、専門学校生クラス、エントリー台数74台）全国１位
八戸高専自動車工学部RS号
グループⅢ（大学、短大、高専、専門学校生クラス、エントリー台数74台）タイムオーバーにより失格

第15回全国高等専門学校 デザインコンペティション

日程：平成30年11月10日（土）～ 11月11日（日）
会場：釧路市観光国際交流センター
（北海道釧路市）
結果：津軽海橋
構造デザイン部門９位/57チーム

全国高等専門学校 第29回プログラミングコンテスト

日程：平成30年10月27日（土）～ 10月28日（日）
会場：アスティとくしま（徳島県徳島市）
結果：PHOTOS TO HINT
－写真を用いた街中観光支援システム
敢闘賞（課題部門）

平成30年度 各種検定資格合格者一覧

			第１学年					第２学年					第３学年					第４学年					第５学年					合計
			M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	M	E	C	Z	小計	
特別学修	一般	実用英語技能検定準２級	5	7	5	7	24	4	4	2	11	21	2	1	1		4	1				1					0	50
		実用英語技能検定２級		1	1		2	1	1	2	2	6	1		1	1	3					0				1	1	12
		実用英語技能検定準１級				1	1			1		1					0				1	1					0	3
		漢字能力検定２級					0					0					0					0					0	0
		漢字能力検定準１級					0					0					0					0					0	0
		工業英語検定４級		1			1				1	1	7				7					0					0	9
		工業英語検定３級					0					0				1	1					0		1			1	2
		数学検定２級					0					0					0					0					0	0
		数学検定準１級					0					0					0					0					0	0
		TOEIC 400点以上470点未満					0					0					0		1	2		3			1	1	2	5
		TOEIC 470点以上600点未満					0			1		1					0			1		1		2			2	4
		TOEIC 600点以上730点未満					0					0					0					0	1	1		1	3	3
		TOEIC 730点以上					0					0					0				1	1		2		1	3	4
		日本語能力試験N2					0					0					0					0				2	2	2
		日本語能力試験N1					0					0					0					0					0	0
		知的財産管理技能士３級					0					0					0					0					0	0
		知的財産管理技能士２級					0					0					0					0					0	0
	専門	技術士第１次試験					0					0					0				11	11				6	6	17
		ラジオ音響技能検定３級					0					0					0					0					0	0
		ディジタル技術検定３級					0					0					0					0					0	0
		ＩＴパスポート					0					0					0					0		1			1	1
		情報システム試験システムエンジニア認定					0					0					0					0		1			1	1
		基本情報技術者					0					0		1			1		1			1					0	2
		応用情報技術者					0					0					0					0					0	0
		ボイラー技士２級					0					0					0					0					0	0
		電気主任技術者３種					0					0					0					0					0	0
		電気工事士２種					0					0					0		3			3					0	3
		危険物取扱者 乙種（第４類）					0		1	1		2					0	3		3	5	11					0	13
		危険物取扱者 乙種（第４類以外）					0					0					0	1			1	2					0	2
		危険物取扱者 甲種					0					0					0					0			1		1	1
		CAD利用技術者試験					0					0					0					0	1				1	1
		２級土木施工管理技術試験					0					0					0				1	1				2	2	3
		土木技術検定試験					0					0					0					0					0	0
		消防設備士 乙種（いずれかの類）					0					0					0					0					0	0
課題研究	一般	特別企画学習Ⅰ（テマセク・ポリテク技術英語研修）			1	1	2	1	1	2	1	5		1	1		2					0					0	9
		特別企画学習Ⅱ（テマセク・ポリテク技術英語研修）					0		1		1	2		1	1		2					0					0	4
		特別企画学習Ⅰ（モンゴル国際自主探究）			3	1	4		2			2					0					0					0	6
		特別企画学習Ⅱ（モンゴル国際自主探究）					0				1	1					0					0					0	1
		特別企画学習Ⅱ（オタゴポリテクニク研修）					0					0		1			1					0					0	1
		特別企画学習Ⅰ（留学生のための日本語）					0					0		1	1		2			2	1	3					0	5
	専門	特別企画学習Ⅰ（岩手大学enPiT組み込みシステム分野の実践的産学連携教育プロジェクト）					0					0		2			2					0					0	2
		特別企画学習Ⅰ（電気回路Ⅰ、電磁気学Ⅰ、電子工学Ⅰ、ディジタル回路Ⅰ）					0					0					0		1			1					0	1

平成30年度 スポーツ賞受賞者一覧

クラブ名	（表彰を受けた）団体名等	名称	クラス	氏名
男子バレーボール部	八戸市バレーボール協会	優秀選手賞	Ｚ５	畠山拓也
			Ｍ４	石橋　薫
			Ｍ３	長畑慶彦
		奨励賞	Ｍ３	南舘拓実
			Ｍ３	古舘昂大
女子バレーボール部		優秀選手賞	Ｃ５	吉田千夏
			Ｅ５	志民真由
			Ｍ４	盛内蒼良
		奨励賞	Ｃ３	田端彩美
			Ｚ３	田村　澪
卓球部	八戸市卓球協会	平成30年度八戸市卓球協会スポーツ賞　敢闘賞	Ｍ３	原　颯杜
			Ｅ２	森岩昂弘
硬式野球部	青森県高等学校野球連盟	優秀選手賞	Ｍ３	関　琢朗
硬式野球部	青森県高野連八戸地区	地区優秀選手賞	Ｍ３	大久保嵩世
硬式野球部	青森県高野連八戸地区	地区功労選手賞	Ｍ３	石村康大

卒業生・修了生表彰

校長賞	E	東山聖生		
学業成績優秀賞	M	黒澤俊祐	Z	橋本龍
	E	東山聖生	AC	竹原万莉那
	C	齋藤侑己		
学年学業成績優秀賞	M	軽米健成	Z	橋本龍
	E	東山聖生	AM	陣場優貴
	C	横浜希	AZ	日脇陸生
皆勤賞	M	川渡拓真	E	古川優樹
		黒澤俊祐	C	津村舞奈
		中村真慈		市川夏音
	E	大橋功一	Z	大沢光司
		関大輔		橋本龍
		田中涼賀		三浦亮太
		尾崎大地		山本凌
		西本智哉	AE	今野弘樹
		東山聖生	AC	竹原万莉那
精勤賞	M	五十嵐廉	C	岩藤理英
		軽米健成		桑木駿
		小泉匠摩		齊藤基
		五戸敬祐		佐々木彩夏
		相馬史拓		佐々木健
		瀧野アリサ		立花慎之介
		西舘嗣海		舘山奈実
	E	石田智也		濱村祐利
		大澤泰樹		原優月
		小田和樹		小山浩亮
		田村悠大		田口理央
		宮﨑翔		林下知未
		安保蓮		山口紫桜里
		小笠原渚	Z	会津優
		木村祥梧		赤坂健太
		杉野森恵衣		奥村泰輔
				畠山拓也
卒業・特別研究最優秀賞	M	軽米健成	Z	橋本龍
	E	坂本修平	AC	大久保里穂
	C	横浜希		
卒業・特別研究優秀賞	M	黒澤俊祐	C	齋藤侑己
		小泉匠摩	Z	赤坂健太
	E	石田智也		川守田祥吾
		東山聖生	AM	小笠原直人
	C	日下部由伊	AZ	髙橋智樹

M：機械工学科　E：電気情報工学科　C：物質工学科　Z：建設環境工学科
AM：機械システムデザインコース　AE：電気情報システム工学コース
AC：マテリアル・バイオ工学コース　AZ：環境都市・建築デザインコース

課外活動功労賞	写真部	Z	小笠原舜太
	吹奏楽部	C	我満真子
	電子情報工学部	E	小杉祐廣
	放送部	M	奈良陽海
	インターナショナルフレンドシップクラブ	E	松浦珠絵
	総合デザイン部	C	市川夏音
	陸上競技部	Z	赤坂健太
	男子バスケットボール部	Z	米澤一喜
	女子バスケットボール部	Z	高橋知世
	男子バレーボール部	C	齊藤基
	女子バレーボール部	C	田口理央
	ソフトテニス部	E	田中涼賀
	卓球部	Z	山本凌
	柔道部	E	坂本修平
	剣道部	M	中下陽平
	サッカー部	Z	山村優太
	テニス部	M	土畑大樹
	バドミントン部	M	齋藤諒
	ラグビーフットボール部	C	佐々木啓斗
	ロボットコンテスト	M	山田悠貴
	ロボットコンテスト	E	尾崎大地
	プログラミングコンテスト	E	東山聖生
学生会・寮生会活動功労賞	学生会	Z	山本凌
	学生会	C	市川夏音
	学生会	E	大澤泰樹
	学生会	E	田中涼賀
	寮生会	Z	菅原和也
	寮生会	M	中下陽平
	寮生会	C	桑木駿

物質工学科第５学年

機械工学科第５学年

建設環境工学科第５学年

電気情報工学科第５学年

専攻科第２学年

平成31年度　行　事　予　定　表

出校日数			授業日数／週数			
	春学期	43		春学期	40	9
	夏学期	45		夏学期	44	10
	秋学期	38		秋学期	31	8
	冬学期	54		冬学期	44	10
	計	180		計	159	37

4月				5月				6月				7月			
1	月		春季休業	1	水	即位の日		1	土		高校総体	1	月		
2	火			2	木			2	日			2	火		
3	水	寮生帰寮日 入学式、入寮式（午後）		3	金	憲法記念日		3	月	補講日		3	水	金曜日の授業	
4	木	始業式・対面式・入学者研修会・健康診断		4	土	みどりの日		4	火	春学期到達度試験		4	木	短縮授業・高専大会壮行会（9校時目）	
5	金	春学期授業開始		5	日	こどもの日		5	水	春学期到達度試験		5	金	東北地区高専体育大会	学生臨休
6	土			6	月	振替休日 寮生帰寮日		6	木	春学期到達度試験		6	土	東北地区高専体育大会	
7	日			7	火			7	金	試験予備日・補講日 答案返却		7	日	東北地区高専体育大会	
8	月			8	水	短縮授業 9,10H 自主探究Day2		8	土			8	月	学生臨休	
9	火	短縮授業（部活紹介）		9	木			9	日			9	火	月曜日の授業	
10	水			10	金	月曜日の授業		10	月	夏学期開始	短縮・答案返却期間	10	水	短縮授業 9,10H 自主探究Day4	
11	木			11	土			11	火		短縮・答案返却期間	11	木		
12	金			12	日			12	水		短縮・答案返却期間	12	金		
13	土			13	月	短縮授業（仮）学生会総会		13	木		短縮・答案返却期間	13	土		
14	日			14	火	第1-1回合同再試験日		14	金			14	日		
15	月			15	水			15	土			15	月	海の日 月曜日の授業	
16	火			16	木	校内球技大会		16	日			16	火	第3-1回合同再試験日	
17	水			17	金	第1-2回合同再試験日		17	月	短縮授業	9,10H 自主探究Day3	17	水		
18	木	短縮授業	9,10H 自主探究Day1	18	土	授業参観日 木曜日の授業		18	火			18	木	第3-2回合同再試験日	
19	金			19	日			19	水	第2回合同再試験日		19	金	学生臨休（一日体験入学準備）	
20	土	保護者懇談会 第5学年		20	月			20	木			20	土	一日体験入学	
21	日			21	火			21	金	短縮授業	寮祭	21	日	一日体験入学	
22	月		オープン授業推進週間	22	水			22	土	寮生保護者懇談会		22	月	学生臨休	
23	火			23	木			23	日			23	火		
24	水			24	金			24	月		オープン授業推進週間	24	水		
25	木			25	土			25	火			25	木		
26	金	短縮授業・学寮閉鎖		26	日			26	水			26	金		
27	土			27	月			27	木			27	土		
28	日			28	火			28	金			28	日		
29	月	昭和の日		29	水			29	土	全学年保護者懇談会		29	月		
30	火	退位の日		30	木			30	日			30	火		
				31	金		高校総体					31	水		

8月				9月				10月				11月			
1	木	金曜日の授業		1	日		全国高専体育大会	1	火	秋学期開始		1	金		
2	金	夏学期到達度試験		2	月			2	水			2	土		
3	土			3	火			3	木	第4-1回合同再試験日		3	日	文化の日	
4	日			4	水			4	金			4	月	振替休日	
5	月	夏学期到達度試験		5	木			5	土			5	火		4学年見学旅行
6	火	夏学期到達度試験		6	金			6	日			6	水		
7	水	試験予備日・補講日		7	土			7	月	第4-2回合同再試験日		7	木		
8	木	補講日・学寮閉鎖		8	日			8	火			8	金		
9	金		夏季休業	9	月			9	水			9	土		
10	土			10	火			10	木	校内体育大会		10	日		
11	日	山の日		11	水			11	金			11	月		
12	月	振替休日		12	木			12	土			12	火		
13	火			13	金			13	日	（開校記念日）		13	水		
14	水			14	土			14	月	体育の日		14	木		
15	木			15	日			15	火			15	金		
16	金			16	月	敬老の日		16	水			16	土	保護者懇談会 第4学年	
17	土			17	火			17	木	合同補充試験日		17	日		
18	日			18	水			18	金			18	月		
19	月			19	木			19	土			19	火	（1-2h 答案返却）ポスター発表会3年	
20	火			20	金			20	日	ロボコン東北地区大会（福島）		20	水	（1-2h 答案返却）ポスター発表会2年	
21	水			21	土			21	月			21	木	（1-2h 答案返却）ポスター発表会1年	
22	木			22	日			22	火	即位礼正殿の儀		22	金	（1-2h 答案返却）ポスター発表会4，5年	
23	金			23	月	秋分の日 寮生帰寮日		23	水	合同補充試験日		23	土	勤労感謝の日	
24	土			24	火	答案返却・総括授業時間		24	木			24	日	ロボコン全国大会	
25	日			25	水	答案返却・総括授業時間		25	金	高専祭準備	午前授業	25	月	冬学期授業開始 校長講話（1-2h）	
26	月			26	木	答案返却・総括授業時間		26	土	保護者懇談会（1～3学年）	高専祭	26	火		
27	火			27	金	答案返却・総括授業時間 消防訓練		27	日			27	水		
28	水			28	土			28	月	後片付け 午後授業	午後授業	28	木		
29	木			29	日			29	火			29	金		
30	金			30	月	校長講話・自主探究Day5(午後)		30	水			30	土		
31	土		全国高専体育大会					31	木						

12月				1月				2月				3月			
1	日			1	水	元日	冬季休業	1	土			1	日		
2	月			2	木			2	日			2	月	企業内容説明会	
3	火			3	金			3	月	冬学期到達度試験		3	火	学年修了式1～4年 異議申立期限、学寮閉鎖	
4	水			4	土			4	火	冬学期到達度試験		4	水	専攻科2年修了判定会議	学生臨休
5	木			5	日			5	水	冬学期到達度試験		5	木		
6	金			6	月			6	木	冬学期到達度試験		6	金		
7	土			7	火			7	金	補講日/答案返却		7	土		
8	日			8	水	寮生帰寮日		8	土			8	日		
9	月		オープン授業推進週間 保護者授業参観日	9	木	月曜日の授業		9	日			9	月	成績判定会議（本科）	
10	火			10	金			10	月	答案返却・総括授業時間		10	火		
11	水			11	土			11	火	建国記念の日		11	水	入学意志確認	
12	木			12	日			12	水	答案返却・総括授業時間		12	木		
13	金			13	月	成人の日		13	木	答案返却・総括授業時間		13	金	去就報告	
14	土			14	火			14	金	合同補充試験日（午前）	学生臨休（午後）	14	土		
15	日			15	水			15	土			15	日		
16	月			16	木			16	日	本科入試		16	月		
17	火			17	金			17	月	学生臨休 入試採点		17	火		
18	水			18	土			18	火	学生臨休 入試採点		18	水	卒業式	
19	木			19	日			19	水	合同補充試験日		19	木	入学手続き日	学年末休業
20	金	短縮授業 学寮閉鎖		20	月			20	木	特別学修指導・研修期間		20	金	春分の日	
21	土		冬季休業	21	火			21	金	研修期間	成績締切	21	土		
22	日			22	水			22	土			22	日		
23	月	平成の天皇誕生日		23	木			23	日	天皇誕生日		23	月		
24	火			24	金			24	月	振替休日		24	火		
25	水			25	土	本科推薦 選抜面接試験		25	火	研修期間		25	水		
26	木			26	日			26	水	研修期間（自主探究等）		26	木		
27	金			27	月			27	木	成績確認日 研修期間		27	金		
28	土			28	火			28	金	研修期間（自主探究等）		28	土		
29	日			29	水			29	土			29	日		
30	月			30	木							30	月		
31	火			31	金	月曜1,2時限授業 補講日						31	火		

（備考）
- ○ 学寮閉鎖（～4/2）
- ○ 後援会総会・保護者交流会（4/20）
- ○ 1年生実力テスト（放課後）
- ○ 女性のための防犯講座（1・2年女子
- ○ 学寮閉鎖（4/26～5/5）

- ○ 消費者講座講演会（3学年）
- ○ 携帯電話安全使用講習会（1学年）
- ○ 第1学年交流会（午後）
- ○ 5/21-6/13授業評価アンケート実施期間
- ○ 高校総体（陸上競技）5/23-26

- ○ 7/18-8/8授業評価アンケート実施期間

- ○ 学寮閉鎖（8/8～9/23）

- ○ 第30回プロコン（10/13-14）主管校：都城高専
- ○ 東北地区高専体育大会 ラグビーフットボール競技 10/19～23：仙台高専（広瀬
- ○ 東北地区高専英語スピーチコンテスト（未定）
- ○ あおもり県企業内容説明会
- ○ リーダーシップセミナー

- ○ 学生会会長選挙
- ○ 交通安全講話講演会（3学年
- ○ 東北地区専攻科産学連携シンポジウム 11/5-11/18授業評価アンケート実施期間
- ○ 薬物乱用防止に関する講演会（2学年）

- ○ リーダーシップセミナー 専攻科学外研修・海外インターンシップ報告会
- ○ 第2学年交流会
- ○ デザコン2019（12/2～3）主管校：岐阜高専
- ○ 学寮閉鎖（12/20～1/7）

- ○ 1/20-2/13授業評価アンケート実施期間
- ○ 英語プレゼンテーションコンテスト 全国大会 専攻科特別研究発表会

- ○ 2/26-3/3成績・欠課時数の異議申立期間

- ○ 学寮閉鎖（3/3～）
- ○ 3/12～13 第5学年特別再試験

八　戸　工　業　高　等　専　門　学　校

※ただし、都合により変更する場合があります。

VEGETABLE OIL INK